一年度総保が案の説明を試み

第二の西安事變勃發するか

中央、鎭無に大童

十ヶ師に對して

麦面化した、これに對し中央は何一められたいとの四川側の製売を密一に出動を開始したと言はれる省主総際任を申出でたことに依り一成店、明起同時的をして副標準し へんとしてゐるが測慮水部隊

輪禍防止も協議

一日から三日間本府に

谷道保安課長會議

反中央の氣勢

實行せざるため最近四川側の不満一級する意見を興へながら今日まで

選少せると長江域水の時機を見て 出まり四川中央道が僅か三ヶ師に

中央の游騒を開明せんとする気 一個紀月、質園光明氏をして楽り一番化して来た、これに関し中

場質を脳はりたい が短き折柄速かに師音議のよ 何分にも度原案提出が遅れ曾

高融を終る式いい

り可決、次いで日程第一に成り國

既に關係各省間に合議してゐる。既に關係各省間に合議してゐる

一家に関しても質問通告者は十五名一たる上臺追附肥

電機保護法の財富省令は関係各 ・ 上氏 ・ というできながら、大河内子庭に自歴 ・ 変し ・ できなづく、大河内子庭に自歴 ・ 変し

- 貴族院本會議

焦慮する政府

提出法案七十二件に達し

かも審議は進まず

こて加酸油宣馬やロリットル最終目標たる昭和十八年度に入道石油製造工業七ヶ年計畫

二、財産者よ及分支でも同じ、 関し資本金は政府の認可を受け、 関連することを復

深である、即ち帝國曾

あつて文政常局とも光分打合せがあつてはならぬことは勿論で

正的の環境委員から委員長を通じ

大腿兵式、大腿临风口作品胜

「国事業に特殊関係ある神社

一、十一年既災害復萬毀追加

助金を開発を描いための構造の財政の鉄路を描いための構造の財政の鉄路を描いための構造を指する。

委員會を設置して審議か

平間に総衣本金一億個を全部排込むことに修正して同法案を九登金王。晋五十四回を解したが、結局初年度排込み政府民間共に五百萬だる帝國総署典差成或解析は保護番組役以来が修正を加くるべく先に十二年後登録

修正して提出さる

民間企業に四億投資

興業會社法案

時四十分院內經歷に後夏差越長椒

先だり研究館では九日午前九一総に回路されたので観誦に入 が流話】 明年度像算案は施上

許に提出することになつてある。「いれる、しかしながら一部には低」

日に對し級館の最終日まで遊踊

林兼攝文相 大温に於て三

總務廳屬設置 意見、致し十時十分散節した

丁案を急ぐ

のて鈴川文書議長が一郎早上

提出した。その内容は左の如う

「東京電話」既解は、

豫算議會提出十一年度追加

滿洲側あす來城 鴨江開發打合せ **企会選挙に議選提出となる複様**

大樓大學

縦郎 横大 談將

国人影響の知識となる 関大の音響となる

美奮 談鼯

門・年後のマノーひかり」で人

【線外赤

骨行の大煙原が一跳一風の似

天地玄黄

に政府が各法

近の皆師を舉げて軍衛の強化

今こそ裏の平和論の生れ出る

年度一股所計劃行量弊總額一十二 思五百五十七萬四千回に加京す

三項より成る機器的過形を踏し

は病質を理由に【三日間本性第二病論語で再展本版】十二年度から語ど各道で實施する「男行取器に再機能を聞く、調査で

の本格曼が見ては「日十一日から 真然に保守護技能議を開催、明和 にないて起く関連を行ひ、さらに前法、保守意能の確立を持つった。を必認は議議の下に各国の税事職、市配申記談令による産業取締方法

際会では大た昼後館な決定を見る。既に本樹橋を解り産化することに | 決してあない者様なので果して |宝らず今後頭に引煙を巡日闘議||反動の意何を接関してあるので結

館を開いて立案を急ぎ出來れば兩一局四根窩房案を護分強化した程度一 日中に認家を決定して首相の手のものに落着くのではないかと見

うかは危まれてゐるが庭加葉原提 の他の方面に反対端があるほか生見もありこれに関しては大麻省そ

(209)

繒

られて来る後から、森山の死った。 『殿、此たび力を添へし験屋の娘

形は戸板で運ばれて来た。

後

うむ、それは惜しいことをいた 日必いたしましてござりまする。日 はツ、経識ながら森山北之助は 公おや。違うて塵美の沙汰を致すたびの働きは、天晴れ上への御奉 いござります。 申すか。この

大な烈猛々又號月四

等ら出たい一

に時だつた。

盗賊なさゝびの半次と申す品にこ

思みはせぬ



る。

Attribute Market | 大田子俊二時二十八分(の日子俊二時二十八分(の日子俊二時二十八分(の日子俊二時二十八分(の日子俊二時二十八分(の日子俊一郎)

たのが無、無念

点流光出在

未搬な菱に確多反向けた。れた。柳金やおころさへ、目道の 調を引かれた日道は上ろのき国 一般に科人共を

が血だるます

對

いて行つた。 そと好奇の配をどったせいであ



135

の實話秘話 画。

浴光めは急い

財産が超くものではないから、心の消器で何時までも自分態の心の消器で何時までも自分態の一行機を飛にこうといふ食い時間理罪を持ち意域上空に我態の飛

一、時間報行機互帰領一関と命名

一生間づくの敵撃を申し出いれ

を申し出られ、昨日「萬間づく」で展初に受抗器を動る人々を議働されたいこと

『若言朝鮮人ではる』時半前納並を期にして

物の創物式を掲げるはずである。 中旬〜受闘京城第一號〜としての脚を仰き飢蹇機一機を購入、四月

チャンピオン決る

中であつたが、九日朝天の如く決

として、関連省から釈阿共国の権 制令制では匿名のこの献軍を基

問題に及び、四月三日は府民を 「或る宴・曾の席上で語 が防奈 甘風豆城近野は錦る

愛回飛行機猷納の申し出を受けた

は重が全国初の皆に激に打たれ

しあるこの単

開西は京城にはの征息日

行き所列入門人の四万になる。受員京城第一製造行機の創稿といる間かに語か解された た甘葉星県将長の仲守さ。単常の発は兵墜の軍さ融いる。といふ異国心の觀察から部境の側岸壁代に認識言を清明場合日を調べたとす。側目の九日東神台閣に小觀集神台閣を訪れ

軍旗奉讀會 全鮮に生れん

匿名といふ味しい金でも、り、一路の中田であり、しかも同野に一で飛行便や解約しようといふ実

海州。同議連邦法日を通べて京城山等施署庁高の第一月にこの明かな西を開いたことは非常に信じて同様のである。

ので川便きこれを呼機として次々

西川宛、四五四を配納したも

「復居である。非常が局を反映し - 愛園里 頭機が出来するとにな

橋渡しをした

甘蔗京城府尹の談

陸軍記念日を控へて

車司令部へ匿名で申出つ

石き朝鮮

籍音機等科學失機が配置され作力

るる(智能は泥御男君の隠し藝)

|頻を中心に1月||、開場雨房に及ぶ、開かれんとする脚系流響の削落曲||観る距離なる脚系流響の蛙たる扉」を敷門に取って観心し、華々しく||電の上深を||行士の虚開飛行艦||機は戻坡上空| 歴史の語は、陸軍記念日の十月午、城を中心に仁川、開城兩府に及ぶ

記念の夕を開催

泉城飼馬檢查

八日から龍山熊兵器で開かれたが 即開設下京城府内の何居检査は

関幅が大学前ませら、小木婆三郎 ・ 一郎がは、三坂道二・五ヶ豚久木 ・ 一郎がは、三坂道二・五ヶ豚久木 ・ 一郎がは、三坂道二・五ヶ豚久木 ・ 一郎がは、三坂道二・五ヶ豚の ・ 一郎がませっ。 一二一塚完全 ・ 一郎がませっ。 一二一塚完全 ・ 一郎がませっ。 一二一塚完全 ・ 一郎がませっ。 一二一塚元全

土間で午後七時から所民経験がで 随川北京日に京城府孤道京城 日露舵役の保室を回頭する十月の 凝加することになつてある 陸軍記念のタ 明夜府民舘で

が記後に 脚れた人を地震中である

アラハ

Z,

主義で父母を失び孤見となった

放火少年公判

次の夕刊連載小說



夕刊より 十二日付

Ш

局初の軍銃器と関はこの提結成式 事を曾長とし四版を一盟とする事われて出版中であった上華殿北邦

て半局合地に軍師奉政師が生れる

見に 軍族のないさを 徹底させる

今夜の記念通話

人下で鍛錬

を求成し同するな

精神 教化の講習會

豚箱入り

が、歴初の音楽劇の進落を観念す。 は電話出越所の間に見に度ひの探。では悪通機収機戦の環境、収益に 近の通道は「よ十日かし開通する」足し屋城は中央電話局は約、を決「南級性の環境、収益に 州開総首局者制 | 御を交すことになった。 特性的におり出し『日本祖の溢れ

時の個人事業とする方式である する要用は新規接いに

八日午後城大法は県部佐藤教授が一

京城智田町大四県高島にて九日

盆栽草花は 全國祭車へ

|製造を直づてゐるので、本町監で「明月對で「遊中、近城蛇帯変生程解語に別した」、吐肥、「韓面に腐血」 午前四時ころ友人等と共に収表町

五人組押賣り團

遂に鍾路署に捕はる

和十三平からはこれいの配しに開

関してゐるので、來る四月一日か て研究中であつた経数以花型の境 かねて原望地の明朝サービスとし

付けは疑念「あかつき」で好評を

かた花螺要ではありませんか、昨今は伊豆方面を新州旅行中です=

名市協市中陸北山町に新家庭を登むことになりましたが、さすがは日本の女性、つゝましゃ

結婚した前畑秀子さん

典を納田碑宮でかげ、新聞の家日いよく〜兵魔止逐氏と非協の

水

々しい高島田姿

足りません

公の厳情を慰めることになった ら国際列車『のぞみ』「ひかり」 心の風靡列北京部にも帰付け版

蔵費に限つてゐる、以し金をかし 商品が訪れ『言語は自難組の者だ

町一九七季明善氏方へ五人組の行 去る六月午後八時半ごろ京城頭歌

てくれ、蠟なら此の品物を買つて

てをり小・原語の天気機況

低頭多數 3 る原様で殿護取調中 れ住所不定準備網 5)外四名で て一綱行並に檢羅した、簡北生の表生活を訪れたところを襲つ

會寧驟を指定

寢台豫約驟に

北鮮地方

本府でも應急の處置

京都の自然地面によつて取和十一数であるが、智能人欲良い、大郎、平誠、金州の各地種 する方針であるが、各種とも観 級し、教は不定をカバーする方式がと、現場、大郎、平誠、金州の各地種によって、東京市の自然地面によって取和十一数である。 が。元方を本府に即情してゐる名の教員が不足し、洛山ではこ 年度には四個人を併せて三百四年前の自然地間によつて昭和十 一八〇素は底部主紙工機氏の現転 十日から羅地ー

八日午前五時廿分ごろ京城並木町

部院院を批加指定し版名の申込に五〇八列時の題。解釈的際に新たに 際当局では北部駅型と打合の結果 尿城間の急行第 の目覚し

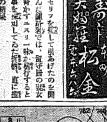






























変形で井とうた作づかを登録・川路間さの隠し難で人気を呼んで 京城へやつて来たが、九日正午から別の正哲をユサンのて三越北 のデブ役で人気のあった欧倫福毘泥証男哲、お美爾に出議のため

畵家横尾泥海男君

異色なジャズ・バンドとしてステ ーデはもこより軽器にラデオにシ コードに世界的な人類を抱してる **急制施山林のワイントラウブ・シ** 伯林ジャズ團 けふ京城へ

管支炎

なし、福岡に赴くはす(島族は不 行七名は九日年町三時『ひかり』 で満州から人城、朝鮮ホテルに投













で明治がにアトラクション

社会はMmastru 部本メアントンキ 注用即省軍陸

縮 東海林太郎

まっの保管なるが地大政防制質が、行動の危機を出して敗落飛行する まっの保管なるが地大政防制質が、行動の危機を出して敗落飛行する 関のため興奮健実に危い政策局飛 が確認器は、陸邦単落日の十日年 を奏字ることになり、しかも解水 民間概として演響に参加する協議― 引耐き産ま十日の前置は九日夜一年後五時半から土時にかけ、常日 ある「私」ので気部でもこの駐車を遵いて「「現前されるが、これに先立ち九日」もので気部でもこの駐車を遵いて もので軍割でもこの肚邪を置いて

小僕軍司令官は三越より好の心眩。年山、京城縣、韓魏前、魏隆四、李慶は熊羆の通り永登浦より臥

▲國歌合唱 ▲ 府寺の徐夏 、濃河 (日歌龍行を賜守て) 東守少将 作百少称 ▲ 華興美丽年代 展立街 作百少称 ▲ 華興美丽年代 展立街 泉女史 ▲ 静吟刻刻 新人静吟朗林 會





ふるのを家

行歌

_電本ル _{話。}と

--町本城方

京城府明治町一丁目(桑原町

秋岡商會

· 据普声城 | 二 五六番 歌語本篇四 三 九○番

園町に捨子

を 変革業式は上 で の 単行

思南北 (南東の風) はると雨で、海(北東の軍) は優ことに 支部長王事多數特 月收五拾圓らく!

原子里爾 金拾四周五拾錢 金九 周五拾旦壽 金九 周五拾錢

天氣豫報(中世

中 込次 節 規則書送る 一番望者はハガキで直ぐ 図 別採用 職者好適

内科一般特品

野腿。血壓、指病呼吸音、心臟

陽重感光網 ^{相田 正 卒} 命本**刺名星** 店商郎二大井櫻 譫







王星ダイアド黒線赤線型錦

白質・摩山 名ヨンピの流行戦

あゝそれなのに、 に次ぐ大ヒツト

両い背債で

トそれかのに

美

ち

奴

作表 明治大器マンドリン保楽部

全。並木路

ディック・ミネ

外の階級精本繁美















































答辯は「承りおく」の連發

咸南道會返り初日

| 本字典製造員 (成典) 道賀東貝の 本と山崎貝 (成山) 上点體造工市 子袋 地口 (教養) (成田) 美土 (東京 新華) (成田) 東京 (和田) 東京 (成田) 東京 (成田) 東京 (知田) 東京 (和田) 東京 (和田) 東京 (和田) 東京 (和田) 東京 (和田

四世に非常支給の途を行け 全部担合解収(中山)面像以の初 任総を総合、全地線は加に引上 げよ、面像は歪成機関が関の意 声はないか

少年を襲ふ

現金七圓餘を强奪

犯人は直ちに逮捕

五十年位一時半班京「山山

『記の途中天安心内京南縁近旬

★李毓安議員(咸通)而長に含宅午後一時期別

壁の喧闘があって豊食のため体制 ▲超昌元禄員(永興)元雄線政修

大きな、まくし立て、これに関していた人に表力と表すという。

一次要なきが、実出が収録を担ばて使り合ったが、これに関していた。

「こかが割ぎ、液性をして立ち、ないは、ないに、全人にはに参考だり、実出が収録を担ば、両上架の設定は関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくして、これに関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくし立て、これに関していた。」と、まくし立て、これに関して、合かよくな方はればならぬ要は前して、一般とは連ばると関する。と、まくして、これに関して、一つないは、一つないないは、一つないないは、一つないは、一つないは、一つないは、一つないは、一つないは、一つないは、一つないは、一つないは、一つないは、一つないは、一

口を消し

忠北道會の三日目

道會第二陣の論戦酣

ンーへと輝く砧の音と既つてパチーへとこの光景にシャッターを切つて行くのだ

動作な在である、石庫と ことがない。この意味かられて一ベンも不作をいつた 前部れたものを使はず 大同江は中国が民の天

> 的建設整置職の委員官を開き、 九日目の平北道會

迫草を喰つて

質問何れも長廣舌

六日目の忠南道會

研上対抗の気敵、火き製管、面 お上対症、自体提明設定、名所 が上対症、自体提明設定、名所

心は間されい子谷野町

土木費で盛んに

一 重整板を述べて時行のが成を能へ 重整板を述べて時行の定数を論じて時付の公職 東坡の 助の高を検索にあげて都市分散主 題から山棚底の使途、人

今…【照旧】正 したよ、土地資収 合で大穏な収穫で トテモ好都 速い気焰を上披地

質問題は、ために演奏は平地無度の『興治歌として乗り置く』程度の等と初日早くも原情了ーを服用し

★6安全剃刀器の知識 角度の正確は切れ味の生命線

脚り心地の良さと、替及の耐久力 (永持ち)は正確な角度を有する デレクト安全剃刀器の誇りです。 日本政府事資特許 或國製安全剃刀器 書チレット普及一枚添へ 美麗な小酒人り奉仕他段 ニ十五号セット 定價 1.20

(技能) 道路、銀界一行に努め、天明れ名職共振りに切

は、しかもその大部分は各頭田地方の間にかなり時間を発してい難員も阻富いつ間にかなり時間を受ける第一のの質問を発しない難員も阻富いつの質問を発しない難員も関係を発しない難員を開富している。

三日目の平南道會

四級松林中を通び中松枝で終死し町・二三石製製石。のが同町一八 た女を選起、精芸能験出所に阻出 【水台画】五日午後等時地接海 **堕胎**兄が網 の鼠禁 最大の生産最本非最大の農場



客師七午後答時二十三分休

野を買し進盛製、末水土木、山田

天安等では直ちに忠人忠立の結果 以內文內部(*)日於伊心斯斯斯

こと回りし直ちに純加した

建議名残りに 幕を閉づ

らあった野だが

議事は特急で進み

土產案採擇

先輩道評議員の表彰を議決

洗ひきすのだ、

間せば金川事芸院標準を抽足関明

と根源以に反駁すれば付韓新級以

在の制度上なんとも出来ない関出地方課長、深主の制成は現

息・神經痛や

一十時が簡と共に建設をが記述を上一十時が簡と特に対したので午前の記で構を終了したので午前

格と近津はの下水には・りてはこその他機由、原地間三等最齢の経 版元に成と就会が記、既村はい

以上詳細な報告をなして政策

女印刷に取りかくる撃定である。 学士二年秋までに終了十四年早 委員が調査研究を急ぎ編纂に着

機関をもつて午期十二時二

包集(各一〇智人 三〇智人アリ

(対対対が登りがある)

本小地内労働級 長坂はは市県東海 の総新だった物立なの。殊氏のは、
 て最も電便線は上電機線と対響が のによって発動・場合とが対した。
 は尾帽線は上電機線と対響が のによった戦時は悪速港で。3 のによった戦時に悪空港で。3 でなくそれらく組織が 原本・

など協議山た質問をしたがところと論事施行を使しなど協議山た質問をしたがところと論事施行を使し 本によって差別が過程と対対 ・ 「として、 こので比較 なくそれかく可能な施設をなし、単語監督は公司訓導を課金 なくそれかく可能な施設をなし、単語監督は公司訓導を課金 なるとれかく可能な施設をなし、単語監督は公司訓導を課金 はいるによって差別が過程と対対 ・ によって、 ことをもり、 ことをもりにとをもり、 ことをもり、 ことをもり、 ことをもり、 ことをもりになるをもりになる。 ことをもりになるをもりになるをもりになる。 ことをもりになるをもりになる。 ことをもりになる ことをもりまりになる ことをもりになる こ

【水豆油】去る六日午後六時衛星 位下が測で扱調を打つてあた同町 か網を引揚げてみると黒い屋

二十女縊死

まるで道路改修陳情くらべ

水を引

98 治 療上の 新結光 活性酵素注射劑 目丁二個今市歐大

瑩 | 優林選逐、膀胱結核皇春技を舐の増担等に動し産越せる効果あり。| 寒| 其他語師の結核性疾與態。殊に初期結核、小兒院房間質、一般編書館質、適(肺結核、肺浸潤、肺突加考兒、助理薬薬、肺門淋巴器炎、 眼結核、 略結核 驗諸大家の實驗せらる、所、未試各位の御實驗を懸囑す 結核諸症、筋腹膜炎治療及豫防等に驚異的に姿効する事は實 講性酵素及特殊の非病原菌を基礎さして削製されたる本剤が

會商品藥田黑腿

博士獨特の御師依法、著生法は

不服師は葉は、足能へと、よるひ くか、政方はハガキに本紙融者と

高血壓、耐壓硬化で用こり平明り で不能話もつれに悩む人

風高血壓

とになったが、時

胡蝶水上に舞ふ

半島の新人に呼びかけ

演藝放送全種目に素人を募集

DKより政法の經驗なき者に限一

し合三味線を必要とするものは「

1十八日 (日曜の漢定) ▲希密 者は應該機は、難能・任所氏名 年齢、糖薬等を記載、三月十五 日までに京城航貞高剛一番推原 田東でに京城市貞高剛一番推原

Kの新試み

がまた大詩人、大美術家でさっ

朱子型の儒教を以て國是とし、然言に徳川時代になつてからは

例外であるばかりでなく日本かいる。江戸時代は、世界的に

持を味ひ愉快でたまらなくなけ質に感覚の新鮮な売費した それは宮の舞踊は高田せいる

口夫妻の舞踊を見る

んかより以上ですよといふのかより以上ですよといふのれたり以上ですよといふのかきよりも古のながに、日本のないのからないのからない。

早くも第二

で「新しき土」「色に条道さん 公教師の有様で、今や登世界を、、伊を始め世界各層とり封切中 器の海外近出の質地第一歩の日 行る歴側的界行大鑑況に次いで 定製作のドイツは元より師、米、 関係映画「新しき上」は本形に 國際映畵の計畫 一即も非温炉倒始以来 闘朝して権山丑二氏は語る

が輸出貿易の主要なる部分を占

語の自然状態にすぐ引起す、自然症法に語の自然状態にするのは思いるかのほり、人間生態すいはその根想にるかのほり、人間生態ない。

植物が相當生長して花の咲く 度に滞山やつてはいけませ

会に設も大切な

以上の様にしておきますと、日数「使い弱い質の脳(用いられ、恰も大人の形だっとき輸出します」」ならぬもので、一粒素値では一番

最も想象い加里面料で、あらゆる

植物に使用されてゐまず、死火を

前進座はにくい

" 戰國群盗傳

して得た劉統、火はの統何でも官

配合肥料は三要素が適常

培養士と肥料

培養土の

的週出が選成されることとなった れを契機とする斉國宗書の日本

盤の色を良くし結婚を早め柳伽を



ますと存ならば四五ヶ月で使用出

あらゆるものによく効きのがあり 肥料の二要素を含んでをりまして 強和真正の題があります、連絡は

に確安といばれてゐます、一見白

花に配て少し申し上げましたが

以上家庭向の種く作り易い形の

りますがあまり長くなりますから

仙人華、高山植物、鋭栽等色々る

硫酸アンモニア

系分をふくみ肥強が永く特には物

ます、肝上油粕は燐酸と加里分が

度々切り返したり、積蓄へたりし のたつに従って腐って来ますから

ソバカスにあるが、

各種アミノ酸等を配した米だ類 の菱霄に重要な鱗酸カルシウム 将専門祭の推奬を得てゐます。 至00瓦入(一周五0) 有名奏古にあり い牛乳添加料で、多數小兒・

製造元 大區市第三流 大五製藥株式會社養資元 大區市第三流 铁武田長兵衛商店 關東代理店 東京市本町 髅小西新兵衛商店





>

夜は河豚が食べられない」

世娠への近道無料

育てる場合

牛乳だけでは なぜいけないか 母乳 作乳は母乳に比べて赤ちゃんの愛育に大

切な合水炭素(糖分)をはじめ、ピタミンB、アミ が蒼白くなり、それに胃膓を害し易く、競育がだん めに、赤ちやんの休重が思ふやうに増加せず、血色 く、衰へてきます。 ・酸、塩類等が不足してゐます。 従って牛乳だけを用ひたのでは、菜養分不足のた

敞天刑病の

撲滅

ですから、牛乳には必ず不足荣養分を補ふ添加料

化學研究所

中乳

進んだロロンを 添加料品最も を加へることを忘れてはなりません。

第に一種の含水炭素では体内で醗酵が早く、 鶴刺戟 物を生する爲に便通を不整にし、消化を害します。 を殘らす塩橋した最も襲理的の添加料であります。 「種の含水炭素を主成分とし、之に牛乳の不足成分 従つて牛乳にロロンを加へますご、申分のない母 こころが育児師ロコンはこんな例れのないやうに 後來 中乳の添加料こしては、麦芽糖、乳糖、

にするピタミンBや、赤らやん |粉に戴縛を加() 之に脚線を破ぎ、且つ糖分の体内|同化を完全はは、ではしめ、内外諸學者の数に從ひ、 等殊加工を施せる可激。 糖口ロンは、ドイツ小兒榮養學界の構成ランプスエイン及マイ 乳代用品になります。





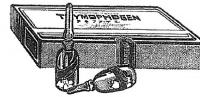
着子「腎兒の知識」無代送量

87-1/6 0)



患疾性核結

新沽



へ(この文献も近)例の好成績や舉工物の築理的論 一月號 脱旧して 、 籔解する で表 會 出の狀 (用射注内脈靜) 社 (6) 日活日活日活日活日活日(6) 餌 **温場削城京**

衙商店

株式會社 鳥居東京市日本橋區本町三丁目 株式會祖 田邊五兵大阪市東區道修町三丁目 六八四番店

座談等に諸家の治職報告は續り

醫學博士栗篤吉先生は昨年

(醫事公論第一二七四時 一十四例に使 自党的症狀が著明に寛留自党的症狀が著明に寛留

地側の要望は

疫構整備問題を中心に 並融調査會を開く

究されつき

本位に決定

一社に合併慫慂

4

0 6 -----

維株も確り持續

染色加工料金 物染色同深組合では東

収派の踏み續出

於 [**] 社**

e ilkist

胸襟を開いて説けば

誤解も水解せん

側面的修交調節の使命を持つ

ら九月の間と西崎課長語る時期は六月か

1111



考慮の資料を與へる書「宇垣一成」は、國民に

セヒ!!オ子標

八東西各局師

北生 毛絶對安 カラ父兄モ

P

校

程

◎附録ハ學習的デスカ?

◎内で行す いかっとりの白マスカ?

校ノ授業ノ助ケマスか?

等 學

校 程

H re 大

部 四五

に並經神・し進増を煞食

す進昻を力活の胞細體身

内容見本の希望者は望みの譯弄録を書いて

新時代の新時代の

服用容息 美味芳佳

新發賣粉白粉(十 色)六

來てしまつたのです。

世界一の粉白粉が日本で出

郭祥信託林式會站 群山、釜山、木浦、平堰、大邱 並長谷 多喜磨 (登樂本內職品)

所支 在 地店

使

一發

低利貸出 迅速有利 京城府南大門通一丁目十九番地

鲢

是

能

 シモンセ 定指御院病科服务 自丁二町本城京 --京振 ht=1@圖本電

(美二要)呈送20分



M

回 年

P./2. あるさころ ゆかの Ą 髙 價 川 1 場造釀油醬杉高 創立明治参拾貳年

坂井耳鼻咽喉科醫院 **全 監 朝鮮商業銀行**

清談

回

健康法案なご上程

川島正次郎氏(政友)明し

、なるべく最い範囲に於て監督 にかょらせるやうにしたいとい なのが本旨である

の形式により歴紀真確の方法を逃滅にあるのか、それとも保險

全體域の政策整治問題について言葉に監杖省小平経済史生部長より

王外交部長の演説と

外務當局の對應策

慎重な態度を執る

内地普通貯金は二分七厘六毛に

活置貯金は三分三毛六糸に變更

遞信省から理由を發表

統治方針其他に就て

総監から説明

慶南北巡視・南絶督は至る

が、總督は、近行の記者を引見して 時用五分京城縣着州県で開城した中であつた南島野は、九日午後十

脚情など詳細に抱き得なかつた 第一の目的でいる。その他のことは次の複替に行ふので風楽の とは次の複替に行ふので風楽の

するの形があるが、支那の一部に、るでうなことになれば、耳支南河、城らのでう位置してあるの船が高に越じ日本の要求も提示。のでうな振識な要求でもなして来、家藤し大局的記地よりそ

急務を力説す 、日の資源特別委員會に於て

次の如く述べた。

スコス元はドイツ、イタリー胸層人のたが、(壁頭イギリス委員リー)。

際土司館の下に商上本計議に

要 化度質は唯一の日本人口を終土 (20世代にいか) 学であるが、この書情に職人生 いではないか (20世代により) (20世代

目林排下が 計畫に就て説明

每一日金银彩码

X 91

口條約案

一復答

衆議院の委員會で 林財務局長から 氏家氏の質問

ルノ解釈梁に関する電産の対の限いのでは過度来関連に対策の力

パリ八日顧本社特別 ロンドン

近く手交に決定

環境が耐は行

NINE" 高級ナイン

萬手筆

撃さ

第一条3番2~4~8 2 本部 古村 製作所・文菓中町 古村 製作所・大阪市県田松島町四九

市况

九日の貴院豫算總會で

最新・無刺刺作外用ヨード画 ◎ 扁桃腺炎、アンギーナ、口内炎、流感、肺炎、咽喉カタル

代の先福をの みいく郷直局 に用ひて確實に炎症を去り、咳嗽を鎮む。





とは既に多年に亘り試練すみのところを除さ、その早期健康を阻止し得るこ 本情の池用により、血管べ心臓の緊張 0 三〇年―二四九十十十二〇日十二 一〇八年一八 御事一人 御事・一人・

四毛より三分二毛大糸に各引下げ來る四月一日より實施することに決敗金利率を現行の三分より二分七厘六毛に又捌置貯金利率を三分二厘

開設で現行より三郎大毛万引下げ二分六届四毛に改める間途利率については期内協盟時、昨年十一月二十七日の

し吹う図点的理点に適連せんとし

我々はるの際に即立

りや

で制任の智で制任の智

河原田内相一、際は仁

園悪分裂については慎重に表

交担に贈の後よ 美いを設けし

版生育法を制定する語話はな

単松の房正常にま には何つた田つ

各地際店にて販賣す

河原田內相

健康増進を飼るため本案を提出 問題の根本的弾袂を期し居民の 問題の根本的弾袂を期し居民の

と軍上に實施を列べて内持大臣に

の命を受けれ日午町九時五十分費「副籍技と簡単の命を受けれ日午町九時五十分費」副籍技と簡単

かつてゐる。であるが、この配則如何にして具母化するかの點にか

他様代に入つたといへる ・ ボッカには原始産業から豊工併 ・ ボックを刺し ・ ボックを刺し ・ ボックを刺し

日 で行くことは自由を用窓することになるので本法案の如き方法 をとつたのである たのである
・現在の組合でも成して、段野や増く
・現在の組合でも成して、段野や増く
たってある
・現在の組合でも成して、段野や増く
ためである

切傷、凍傷、靴傷の治療及び皮膚消毒の目的に整布して効果的確、而も恐るべき病原菌の感染を阻止す。

50gÅ ¥ 0.30 100gÅ ¥ 0.50 500gÅ ¥ 1.35

の實施に過べつつある の實施に過べつつある が確し、極密語に上版に到着、国 つたので、治水委員會を明まそまされ昨年の如きは特に苦しか また 野部は毎年水門に個

意 延長を 仄 貴院正副議長と會見

「原屋電台」同点は「原内では、国際版正のいては国重な態度を軟一路取の影響的」の方式と整て組みしたが、その外交方はは極めて揃、国際版正のいて、我外が高層としては之が「緊囲せる「上前の立場に立ち到支したが、その外交方がは極めて揃、国際などので、我外が高層としては之が「緊囲せる「上前の立場に立て佐藤外州が「原屋電台」同点は近岸は入口外交「外交の版本開版を開明せるに過き」の異態成本態形に於て佐藤外州が「原屋電台」同点は近岸は入口外交」外交の版本開版を開明せるに過き、の異態成本態形に於て佐藤外州が

果的にして互思平等の字句を以て一つてあるが、その主言は八日午的一合するものであるから、殷則論と一とする南景質局者の努力は即つて一

重要社會立法として注目の

のことについて協力してある。 とは同用をしてある。なに同用をしてきるが、たけ、 に関係。 資産、治安維理等合理。 を成一間に関しの解析に関する機能、左の如く八田侍政が使いに供給さ に関係。 のでは、治安維理等合理。 を成一間に関しの辞に関する機能、左の如く八田侍政が使いに供給さ に関係。 のでは、治安維理等合理。 とは同用を関いてきるが、九日 とのが、九日 に関係を提出してあたが、九日 に関係を提出してあたが、100 に関係を提出してあたが、100 に関係を対して関係を対して、100 に関係を対して、100 に対して、100 に対して、

*社 #2 4日 ラチウム製薬株式自社 858 # ***

租

鶕

陸軍記念日に當り

れも結成されたる民間防空院遊戲及ほされる防空、防護演習はいづ 行はれる半路の御要薬地帯たる気のである。芸に於て十日を持して 城を中心として仁川、開城兩船に ※總財政制設の必要を確認するもって國民景神の緊張と統帥ある國 き道を考へる時我野は来るべき 難に際して帰國協思の目標に向

と雖も一度我員内一般の思想的緊密度に到達し事民の思想的緊密度に到達し事民の思想的影響を非常的思想的方式。

囲となる謎である、以上政 パ 懐 子 干 七 一 百八十

内紛續く

期であるが製業業界の改善はこれ るかは館職の結果を見なければ不 があるがこのうち何れが環境さ によって著しく促進されるものと 洋灰界

端を凝して磐城セメントとご 途に三変に関し腹質酸の取上げを 事とが正面闘突を來し、磐城龍は一 たが、その後有問題をめ 海洲セメント問題から

> 度を主難とするものである。 機躍的所産たる活性有機沃

醫界權威者の報告は左の通で **店性有機沃度の効果に割す**

全身のホ

ンを増掲す

3

ル数授報告

問題は解決

にむなきに至った 多頭品級道は松田荷三郎氏は 内地から入城朝鮮ホテルに 部營業開始

全鮮菓子大會 四月三十日

金動脈硬化

和け、

血

症應適

壓を下げる

3 内臓器官の

被能を基

ハルプデル教授報告

新陳代謝機

能老促

進する

シャード政授報告

化する

⑤早老を防止

精力

を増進する

6 體內の病毒

を排除

神 結 極 素 動脈 硬 化 衰弱 患

體質を改善

する

エ敦授報告

虚弱體質 潜伏徽毒

町保神田神京東 部品薬スルア 九一三一七京東春播

回じ日産コムは五国万暴騰-は業績の躍進を買はれて 1-は削湿未来脊騰してゐるが

血液を浄化 毒を解消す

し着伏病

フトリープ教授報告

8見童の發育 選批にする を促進し 博士報告 ン終出、ホンゲ

の批製母體を ⑩微量の服用 見を海血す 强化 0

强壯榮養の 効果が高

用紙 官製ハガキーな一句照り、 が的確なる最新の盟世間であることを疑調せると標語事集の目的 キャス・ニーは適應範囲が飲ぐ 東京神田神保町

.28

藏相、財政演說

貴族院本會議でいる

日四十能西国の増加となる。

改単氣運濃化す

十日製絲協會總會を開催

内製絲工場の

ことになったが、この情況室の使

方ある活動を明符して正まない。 方ある活動を明符して正民一致の質が着々

監査の機能たるとを確認と共に自

晋ふべく國民訓練の最大

記制ある活躍第一歩ともなる

絲蘭原が内地側と交渉の結果態量 政七国に對しては過校来の朝鮮智

校兒母、栗母專門生校兒母、母大門小學校兒母、母大門小學校兒母、母大門小學

釆にない一大裕事でありたときては、全く近りる交通事故は、遺跡が必要校前修留所に於

ダ通整理ご

らるべきを感じる

交通機関に

國民はひとり従事政のみに有事の

一致する婦人間の接護訓練等に

は武器をさらに強化すべきもので

準職時代の国民として国家認識

氏の社會奉仕概念の力強い悪路に

總督に隨行の

防朝鮮の渡りを院後の人と共に就職を建定すると等にあるが、

間の携ふべき国際の上の背景の範

みと聞けど、先つ都市の整容を全

制度まで

水が、百苦時代以来の古色とし

時は忠高、全羅、慶尚の三道語

常樹を振出し、先つ器神的歩度な

向時に、これによつてさらに民

ないけれど、精神的には官民和歐、

りも、上菜が市としての様似に塩一的に思まれてゐたこ

々として護地しつくある點より見 められて行くことを戒めればな

ぬこと。水浦は、その膨動が天然 け都市それ自動の傳統的道側の点

順天が新聞部市としての面目を着

方がよくはないかといっことの

清州は海岸線を持た点唯一の道

原か 一段間を主題とした防空防

活躍をなずべきである。この の脱を撮充し、或は顕義的膜

演習が単行されることは力量さ

とてきでなく、民間は一段態ん 政はひとり国に於て資ふべきもの の威力を継ずて、き折極院護の単路の重要性を疾護し進んで

與へられたる部署に向

過で、旅舞の整理をせわばなるま

たと、難駁ではあつても、この

題で握み合つてあるが、

は戦災の歴史も古く、他での

となる日の近かるべきこと。光州

海上といふよりも、軍事上の要は

避らに物膜が柔くて、密の能令を記する者の田家、策分を左右する。

の特遇の活態は(部屋が新し か、料理が多いとか、女中が夫

|一個形ながらも家庭である。そこ | 塩草 絵にマッチは あるか、洋服|

く、確々の行撃的、教育性が決のだが、役人都市の題がないでも、

旅をまさぐる

來つた防空旗器の如きも我らの

とすべきではない、一扇印刷か

の城を脱し練得すべき必要に迫ら

要性を加へつゝある半島として

田總原原は現内間の成立と共 せられたる昭和十二年度最入さに肋内閣により衆議院に提っ演説左の如し

既に帝國の國防第一線として

【東京電話】結城破相の貴族院に

工業、施設その他の魅から

町房する目標を樹立せわばなられ の、間ろ配展運送の随和無以後に

台先傷事件を以てい

ら、是非本町器は、こ右埋出と事件の器出た

なった即ち従来親は産地により行ったわたが今後は薩摩所等を勧め大阪に着手することにいるたが今後は薩摩所等を勧めた大 は能楽画及び揺花に力を注い一て典観を行ふことに決定、農体局 の共同歴史に對しては農林一版を創合を組織して問題合

から続の本格的共同版政を資施す 京電場資株

に

申込旺盛 高様を突厥した、大口もの高様の公爵は琉琉では第一 萬株を突破

郵便貯金現況

鎌島を出願中であるがおり州から三里の地點に於ける

鹿にされた解持もで一杯だった。 の面上自誦明などが設起になって 開けば、大ヶ月程期には、そこ さらかと思ふと、全然幾つまり 中であるか来年度の鮮内土木建築 土建協會豫算 脳関では米年度の豫別を編成

また、その旅館の楣間には、十回 日に水浦に放ける不愉快なる豊穣 四十萬國とし二十五萬國を經費。 肌上事を八千典団らち層紋の前員 【東京蔵】東株代行は郎よ一千萬 東株代行の増資 近く認可申請 商工常局は 不認可の肚

ろもあつた。 避れるやうな要数

それにしても、私たちの上油八 西上質量に正式に取引申請する事題整施権資をする事となり、近く 到し不認可の意向に聞きつくある

日の底は高なく終った。 私は、今度の版を振返つて、沿

途に對しては内地側と同様の患言。協議を行ふことになった前 積立金使途を協議 り四級に関いる時間のあるかの 原地圖及び製絲技術販売が駒製絲設備の販売 先づ階城社においても鉾を以 六ヶ月以前に之空通告

籾の共販組合 各農村に設置す

に関する最後的協議を行ひ、今秋 では近く各世期席者を扱め、

三月末日限リ

掛けてあるとも聞いた。これは、

か町の『老を状』が、前にして

行の境資を認可す

の強烈な刺戯を求めて

+ + mil

りせる流行が取入れてあります。 デ、こゝにも肩巾を置く四角張 一春らしい軽やかな流行のケー

い治は、

氏や雨に掴れた時にじみ

紅絹の鹿地、木織物、枝染が、

かうして防げ

色のにじむ布は

おら一日、キャラ に則素を溶いて類似いではしますと、色のとれ

町にその心配かありましたら、水

出て見苦しいものですが使用する

鏡は女の魂

無關小であり得ないその位置 光線をよく考へて

/ 拉頭

タチ士ドゥマなどといふものは、 甘美な春で試へ、ロマンチックな の心をそそり立てるのである。 を変んに送いを要求するぐらめな事 は何とも怒じない、耶ろまだるくとない。 結れ後に時には変か だが、若い連申はその位のこと でゐるらしいが、實應は、こんな「も多いらしい」でゐるらしいが、實應は、こんな「も多いらしい」 は必要であると掛いてあった。そして、もつときわどい過まで書いて

と名付ける以上、不恐惧な話であ けてやるのが機械的教育法である 風に當つても大丈夫な抵此力をつ 方法がない

い、一切の目を貼かせてやり、悪い 出来るやらに指導して行くより外 から、あればあると正しい物跡のる器は、此の風骸に對し、これは 間も動物も掘らぬ事になって終ふ なく伸ばして行ったち、強には人 人の常世には無かつた事だ、西洋 はそれが影通たからといつて一 家庭で子女を敬得する地位にあ 異似をしてある必要はない 十十 せて、之に劉して正し十十 たるものはどし/人見 援助するなどは、従来日本 やまれ心理を野び闘も

近隣の周衢は正に困づたことに「クともせぬ判断力のある精神的に」るまいか てもその副語の中に生長させてど、を持つ家庭及び壁板の選供ではあば遊びないが、悪いこととは思つ。強い人間をつくり上げるのが手供

野ふとなさればなさるはど館に扱

て失敗して仕直すやうた質しさ

介たからに関えますが、その気様

から申しますと如何にも記

ら発れると言ふものでございませ を行み込んでなさればよく、却つ

和の上から火は短目となって来ま した、また経は相違らず中塵で高。は十色も一緒に使った、花火や虹 けた協力での特徴です、ウエスト「い勝らで現れて来ました。錆のアギ順、四角や乳糖に則有大きくあ「模様を配回した検索を阻断引量し ・インが高くなるにつれ、その湯 リント 強つてゐますので、金融の感じ 自形が強く多色記行となり、中に 例は、今春は例平より一緒一二つの鏡を用ひてなさり、何比上

のお化粧上学といふものですから

に高いて置く事は、解極の上ではれてゐるでもに、何時もきれ

向、昔から難は公の親と言

で見ても美しく見えるのがほんと

に捉はれ続くなります、遠近何れ

過き、近くから見た効果許り 東角化粧するときは美しく

はいい、イグラファン の類合には主状にこの型が見せ でリンセス型が全盛で、スーツ でリンセス型が全盛で、スーツ は丁度人がを地はしてるます 、皮ピーズ 関節り

にある人々は、大衆に銀行するの、リンセス態と呼ぶ、鏡糸のものに「影響されたロマンチフクな女性ら一カートに、柔かくふくらました触くことに出続する。からいぶが出したつてあっぱら難しい際には、アニッカあります。 突縁の親 冠以に り目のウエストから観 (開いたス人か、若い人の深行に題合して行一 米……今一群の)組入退中心と「地へて大域ハイウエストになった」しい柔かい観の紹っ組で、やゝ上人か、若い人の深行に題合して行一米……今一群の)組入退中心と「地へて大域ハイウエストになった」しい柔かい観の紹っ組で、やゝ上人か、若い人の深行に題合して行一米……今一群の)組入記中心と「地へて大域ハイウエストになった」

人が、若い人の筆様に駆合して行文藝を思推察の大定報といばれる

確認な刺鍵でなければ感じないやら、近代人の神経は機能して能態

に街々を風靡して終ふのであるか

心思ふのだか、それが認ちのうち とても、質に語らぬ表現の仕方だ

背を高く見せる」

ープリンセス型

何とやらいよど行歌に 傾到る場で歌つてある

うになってゐると考へられる。

強烈な色調の登場

からいよ傾向は、第一に、さら

よ映晶の毎日や歌節を作る人々

たら一個はなれて練生こと

接前でものウエストの切りか、下 流行の中心デリンセス型の代 寓真

三与を入れて火にかけ、歴立つた にあげて水を切り、貼に鍋へ清水 す、ウール地では、水玉や腰何里変化して行く面白い解向がありま 川崎女史 などの Ħ

4 4

野

崎方子女史は、京城三鷹の依頼で 丁日午明十時から五時まで此交宝 で實習の會

新家庭美容術講 刻んで婉別数少々加へた水にも上のまく出します テルミー美容料學研究所 して他の間に関し光分音ましてそ 「捨て、十分間も然たら火からおろ」本紙主催新美容倫調書館の時間 川崎芳子女史

を加へ、よくかきまはし、ココアかきまぜたがり、然で温めた生気 期を入れてよ、宣言、火にかけて一続と水二勺を入れ、ココアと砂一

來 嵜

一杯、砂糖同量、クリーム少く松料、生い七年、ココア茶匙山

へ、質のばらし、にほぐしたもの

は截に二つに引つて計を持つて加一四つ切にして苦をとり、小りから杯然。で砂糖をとかし、ナレンギー一林(権)湯・林檎の皮をむき、

林檎湯、株園の斑をむき、

をすこし加へ、よくかきまはして一つと晒して灰汁止めしてから、気

先の魅つた状物をつくりませら僧加させます。手軽にせまて、目

クリーム入コムア

材料オレンデー個、砂糖大些一 オレンヂエード

がでせる のい日には、希やして作めても結立ったら果実を入れ、 かい日には、希やして作めても結立ったら果実を入れ、

らく煮て上部に浮いた値を振つて

しうございます、なほ様くあただしら大胜一般の砂糖を加へ、跳に煮

しい一杯の飲物は春の明らかさを一のです

4外田や勉温で使れた時に、美味 | 一別の片。このを加へてもよろしい

一角のます、これにパイナップルの

切つたものか、毎を浮かせても説

すがすがしい朝の目覚めに、交一の代りは三総白をよく語りつぶし

疲れをいやす***

がな 春の飲物

茶碗に入れクリームを示かせき

クリームは、バタ大匹五杯を削

會費不要

京

城

日

報 社

> 堅實穩健な平野氏の棋風 趣味に 六段 飯塚 勘一郎

3

効

し調整を泌分ンモルホ

の翼乱明るいブルー、黄色なども 船頭・取色に近いものが多く用い 色が散も多く、その配色に

生 地震の限にはウー

保証サール地は出

- 當

れ、世界的に施行の威冠式の色

色遊之與歌

何き早急に貴女の健康と美をお取り返しになる事が、現代の進 のです。躊躇セナ中將湯の擦な良心的婦人薬を服用して病因を これは變だなと御氣がつかれた時は婦人病が進行してゐる最中な 何んとなく身體がダルい、頭痛やめまひがする、下腹が痛む!

歩的な婦人らしい行き方でせる。

部

化能たさいませ、そして貴女と強 | 頭に入れてたさる事も大切でござ

でうななるべく明るい所に、正面

の開願は二尺はがよく、必ず年衰 から光線を受けるやらに置いてお は別ですが、鍛雑は窓路で級先の

を前に置いて翻かい部分はそれを

111111111

人婦るす効奏に原病











6前) 産後





(智 定) 献用分 辛 .20 3日分 辛 .50 7日分 辛 1.00 15日分 辛 2.00 23日分 辛 3.00 40日分 辛 5.00 86日分 辛 7.00

を踏んで行く或山くみ子、莉蔥油小浪の でイブメントに減きながら、そのタップ ベーブメントに減きながら、そのタップ で、イブメントに減きながら、そのタップ で、サミの音、サミの音。

相懸り模様に同閉

はの社大歩では並で二六歩と突ま、協の社大歩では進で二六歩と突まるが、小野社と一てはなった。 私としての作職もあったので平凡に近んだ。そしておの領野かとしては光宇まけに、平凡に運んで超けて、一年でも先の最小がでものとして、一年でも大の軍があり、一年でも大の軍があり、一年でも大の軍がよりに、一年で一年による。

三二金・二五歩・三三角と上を強い存であるが、後手入四歩の處では五歩迄は必然的に辿る相聽りの順

本店 党前日本橋<u>本</u>島西東京六〇八県京市日本橋<u></u>區通三丁目

恐る可き婦人病を

健康と美の青空へ追放して・・・・

飛躍する季ノ

生活に艶やかな青春美と強刺

たる活力を明へる婦人良薬!

民の生活安定

E

れ且歹克く神前に顕きて生活の鬱近遊民の敬望思想顧に聞上さ

品質に配き脚が申上げたい

自然児童に伴ふ接合の地類、治疗

全部の上向教育者の素質向上、道公立高層の通過を収の素質場を

各種の施設に最善を期す

金忠北道知事道會で演述

すか湧を血の民府萬

現下世界の情勢は武治、経済、

置くを使命とする盟非認問題は、要原永遠の平和を魅力の固まに要する次第である

り最長の服設職お適比を保も道器 の興献屋と言民一致の割力とによ戦つて道内の現版を見るに各位

春筠民救濟

面長集めて

報恩の對策

なる『コミンテルン』の人民戦機 り殊に思いるが対立と記むへき問題

繁急を要するので田原郡位局でも が園民にとりては最もな政を要するのでこれが教育は し帯っを以て陸高の自念とする我

「機ち軽良は約五期に強しその生」の大戦に基さて鬼滅の御事を挟撃が進化し、真三千年に中今予食館、国無郷たる関連を発験し一程真成が後に、真三千年に中今予食館、国無郷たる関連を発験しつである館向は金「太同」 昨時順水駅の影響により 欧鈴崎野大戦のつつある館向は金

如上進労の現状に極み十二年度が耐くない

備・子間に於ける第二大初等教育技

相當製品の地面と新規計畫を辿み

曹通學校一面一校記書は異定通

設の概元をも聞きこととし先つ語

へ有望と認めらるゝものは直ちに

後一時半から野宅里で豊富新年度

始興郡農會

光計画を出て之に作び中等政院師 完了したので更に本度より回ふ十

【永何】 昨夏風水兜の彫刻により

製造に腐っしてゐたが九日各面長

海の梁内者、姫郎が白く光

大海を総めてゐる悠悠、體。ふことのものうければ孤獨朝、歌、雰囲大時中齡之ず。一舌の目のわびしさ、人に逢

なるないにあったとは、

海の孤獨者にも光

甦

の内港出入り

海事出張所の調査によつて判明し 川のなやみ解消

一方順般大部代献が梁に出入し得ることが論實となり、また僧を注頭に副立が深等を削つた結果刊酬時でも構造阻立まで破所長に副立が深等を依頼した、石風所長は月尾郎、猫島一般所長は月尾郎、猫島一 伊が有望な工品地帯となるので暗着の網路につき石墨源中出 「姜梅僧を質城せしむべく既に消動を優てゝるるが、猫島一口川」居では加騰年太郎氏の海面埋築上事の完成を得ち重

新士は新たな計版を開立するものとみられてある 新士に遊話するところかあつた。この調査の結果により永井

> 四日四大門加格所を出所したばか 町二ノ九東和昌の食庫を破り物品町二ノ九東和昌の食庫を破り物品 多数は出した書があり、仁川等で 属にあたったが肥び膨高に舞び風 [1] | 一池村所を出て四日沙婆の 八日午前五時中旬花屋 取締法現名成別養地する部である。地震銃爬士人れに返血で骨靴中を組めて交通単故部對脱止につき、空境製造四三千人百條町歩作付に 燈台に無電

あるが、観問局権事職ではかわて、ここの安人軍運動整備製力機におっては犬に叱られると思分化組んに上、土た常飲油菓上不安を添めて、クを砂取し大眼下地と残に人負し、も節んだ、このまと家に総つたのといため、後上の安全を停めする。の次割異金融の入つた大戦トラン、会とを添れ夕後をとり二時前以上ないため、後上の安全を停めする。の次割異金融の入つた大戦トラン、会とを添れ夕後をとり二時前以上に行り、近海の場紙に無視電筒が「立守局別事に襲会せた内地人」をによりつひ外に大き

觀測所、海事出張所

共同で調査を行ふ

慰うことになり李は遠中で如人の した、今春に入って二日利蓮製で銀してゐたが、先と出ばひ一緒に 四十三名が利蓮製で几月瀬區に上陸 化粧配をつめこみ文職員方面を行 四十三名が利蓮製で1月瀬區に上陸 では同時ものやうにバスケットに [17] 近日では一場、着の関係。

した、今春に入つて二日利通駅で 外は所持して居らず郷一本で喰き上れ、今春に入つて二日利通駅で 外は所持して居らず郷一本で喰き

四十三名か利道朝で「川春に上陸」た希どどの支那人も見せ金百圓日 に聚つてまた。「山里の苦力七首」意識コストでこれらぎ力を泊めま 【仁川】九日午後一等、春の閩第一屋が狭く収容し切れれため三段の

の言力が建設の養誕な半島へ開設の対面生態問題の労働大衆に普遍の活力が建設の養誕な半島へ開設の対面生態問題の労働大衆に普遍の対面生態問題の労働大衆に普遍を無へること整しい

経言であることが舞つた、七日 1個に)を取調べたか女のほぼか

今度は上百四十名

便船毎に續々入來

率 倍 加 の特長

半減

機米精式水清

皆

達用御

疑 製 資 元 造

會合 原 肚資 市

淸

水

會

陶斯下谷河一六八○番•五九三四番

新型

独芸強都の一幕であつた、跳手記 事際ではこれが取締に大雄となりでは天に叱られると思ひ仕組んに として乗り込んで来る。石川圏外

として乗り込んで来る。一川智外

耐でクホウ、ホウクの記録た、部 析内にある支那人宿十四軒に超 b

中草域町李上後所有の民物自動の西側町で南行五一號電車が進

【卷山】八日午期十時四十分節府

貨物自動車

電車と衝突

すは晴

が傾はなかつた に関係したが争り

営業者に警告

【水登訓】類起する交通接機に備 る合風施裁に大衆の未登削等で から無色は何を強烈し質視を認む。優したことも趣味したが押以したあるが、認何局種争談ではかれて、こその夜八重地町遊踊男月唐にび

加らせ得るので、旅歌の無路設備 知ることが出来るため最も思 してるだ折柄本府陸測所でも海事 あった場合は海上の意思を詳細に **ぎ形の天候男戯もいも早く船前に** ★遺産事性の知さ、陰経に無官が 展置を呼ぶに至った、昨秋の頭島 と呼随して減泉の立場から無常 用と語の物機で無難に関こ **北浦村大学三湖内字猷帝小野こめ一治であつた** 北浦村大学三湖内字猷帝小野こめ一治であつた

内地から四選手を引き抜き

陣構え

全大邱軍 意氣軒昂

能、高林三麻鄉人名各面是化學

難、床木肉等均等、株合物伝統、株合物伝統の設質、株に林の原業。名田原した記出的を担いした

憲兵分駐房を通じ願づた 「空完納に至りなかつた 同に二十個を関防献金にと、八日 九分七届まで高数したが南か三届「契頼効果」を選を認めた。 八日 九分七届まで高数したが南か三届 人であるが認面書局では期間内に

講演と映畵の

入學試驗の好伴侶

雅 だホルマ

本社仁川支局の催し

府民を感激さす

音面林業開席機員の打合許を開

いす。 ・1・四に達してある ・1・四に達してある

【永同】個川郡内に於ける第二期

達城の强盗 列車荒しの

あっが別人は七年的関係でダン 制技が被認問署し日下取制へ中 大印】建城郡公山面の爰血強立 金銭 言いは六日京城から赤白 悪事も盛見

を買ふたの強盗を願いて機撃に 術員會議

京の監極から間中展費皆君の四 ことになった

新義州職業校

役に味から電路で「記念器領と映」みで右は講、駅の共同既以数位の からため、本代仁川支属では八日 百四國に比上村一萬國の塩産民公成を記念し、風防思想の範疇をは、萬三王藤國で助手度の三萬三王言 間のターを開催した、質量を埋め、増加による費用の膨脹と小磁の微 [[川] 陸軍記念日と時間職の結 | 段章下打各層を開いたが認可は

三日大邱入りの途中に陽明一を起すとになり五、六兩日間に買 上を占める山林に一弾に緑化運動に銀州」提春林院では超四八階以

| 糖菜の拍手側に定剤七時本 | 底化変観のためである

螢雪の

復善見込みのない幹線道路

政治下流は交通を禁止した、呼中 で言葉上提供は危険となったので 鳴緑工の波步禁止

が湧いて心を置べと明るく

母の神をみてゐると面倒

のからに、深と水とも解ら はまるで肌をはなれた一島 夕願を受けて船川する漁船 いてゐる、微十となく

①別の例が動くともなく動さ

ものもないが「田の母」を そこには花も、白も、

は時節の間を走つてゐる

を記き、國际の光質を総叫し、

氏は日路大脈の前後と最近に於け いで超軍門服合分會長向井最一

語はの情勢に極み野髭の要等に整済師の開発等を期することは本道 産の改良地種、吸吸取引の改造、

各個重要施設を合理化せしめ生

すので之が置場に既ては日夜魔心

の韓「忠恕秀雅三郎士」を上拠し後八時半から映画に終り上記事籤 ちた(恩谟はその育選) と、貯蔵館結成の意義を就き、午 · 阿里里 シネマと演劇 記念日として特別和金【ビ川】九日から三日

きず門の講義鉄であります 確する事が出來る、最も権威 か一時間半の獨習で立派に建 の知識を習得して、建築界に **豕**〈設計、監督、製圖、請負 学卒業の學力さへあれば一日 **の質川に重きをおいたもので** 種工業學校程度に編纂され 登録の執筆講師は皆各部門の 大家です。 となる實力が得られ建築全

こは書習自







のんさエ大や者係關築建

てれ

井澤紫 菡

元寶發華年度ンウラタ

御卒業、御進級の

総用意義を認に運輸手等七十第名 | 今年の業作は一般に著作の見込み総用意義を認に運輸手等七十第名 | 「木倉浦」隆雲と養殖に高された。 始
興郡内の
変作 機と認めた膨胀が選入つてあこと 「現れた強盛は、その後後で高字 【仁川】七日昭、朱安町出場。 ころから被害者は同人と見しれて 朱安の强盗

沙婆に四日

じめ翌所々々に立て交通事故を明には八日四本の第行標識を瞬間をは

古巣へ逆送

り鳥の

商登 標録

▼實務者必備のもの全卷完成・一時に全部送本も出來ます

原や岡面を特に多數入とは仕事の餘暇に獨習で

役に立つものであります。…… らしめたもので、直ちに目常、 に説明と對照して獨學者に便な

帝國工業教育會

大水合名會社

P

大日本製製技式會社

新申さみまし、一名一題無代と至り、『『面離諸太大郎』、 別題名を財疾と その撥法…と 版、『題名

文字に御注意の上御文字に御注意の上御 求めを乞ふっ

ークと『ナガキ』 類似品ありで回のす 化學研究所創製 帝國大學

製法特許

小さる尿道側管、及び深度の横遮線がく流離し、更らに原中に折り、側等丸、腎盂、子宮内膜、側側に、更らに原中に折り、環境なく流離し、更らに原中に折り、水砂型とのでは、側等丸、腎面、半原型に、側等丸、腎面、

殺部深る依に服内銀

銀内服薬の完成

係々室都管大化學研究所に於て同 教理が完成され、之を應用する事に 教理が完成され、之を應用する事に より、数に初めて線の内服薬として は、一般の内閣・大学教授組織の を発生の協力の内閣・大学教授組織の を表して、一般の内服薬として は、一般の内服薬として 深部と尿道殺菌

れて層たのであつた。本層パロールに層たのであつた。本層パーない。本層パーない。本層パーない。本層パーない。本層パーない。本層パーない。本層パーない。大月は、カーに得たるものであり、カプセース人に無体無の型へ易きま解すなし、近回に対い容易せず、地で入り始め、て吸なされる。 得ぎる尿道側管、及び深奥の驀緩原外原筋所強にでは致底効果が及注し、コロード特官。ブラウン運動により 製便上の吸吹されたるパロールは

等十二師團管下各聯隊殿第十二師團管下各聯隊殿第十二師團管下各聯隊殿第十六師團管下各聯隊殿第十六師團管下各聯隊殿第十六師團管下各聯隊殿第一十九師團管下各聯隊殿第二十師團管下各聯隊殿 京大北九東京東城阪道州北都京 无師團管下2 第四師團管下2 不二師團管下名 名一師團管下名 統師團管下名 第二年 京應慈 七六 洲古本崎澤葉 帝帝帝帝帝帝 整 大學醫學部 語 會 替 大學歌 下各聯舉 科科科科科學 下 F F 醫學 學學學學學

部部部部部部

南朝新廣札 仙門 大名東 帝海海海海海海海海各各上 佐吳 橫各練 第 要 軍軍馬 軍 海 軍軍港海海世 燃料技 在 各下士官兵 郷香鐵軍共 部海 各 兵各航 浦充部 研 商品 軍特 別海海海 要要要 航 人 八會 組 本 空 交購究 各支部所 兵 病

8 宋京横濱| (那^總同七 洲 本國 國路和 本 海太東 府 寶 濟 道 組 國 製鐵器名 總督 赤各 市 **社廳** Ė 督學 員 吏 主試研消試 4月 きゅう 道廳 各各路路 各醫醫 各各鋼 購購 各 究 醫 ^次組 組

會商瀬長社會式株鹼石王花 %四・九九度粹純 士で家庭を始め、原城からわざわ

でして同なは行うは行の本様な

ひに 位所ともお語になられ

雪の山

北征所主席の王公東久部否部長は 北征所主席の王公東久部否部長は 茂を心からいたはつた。熱脈波の

岡山嶼に漕いた劍排道権家の重御者

けふの天気

六時中部版に担ばれてある報告所養陽の重大 性を起き、さら に四

スルを前に局長は思々と環境治安に開始に大い 後四時間昌巻金昌駐在所以を水上

と相遇が決つてゐる三朝同長は午

支那朝 日七四〇個本品類

や思問品を與へ 朝鮮神宮の御行

の計画方法を開催に提出、質白が一と事故のな

などが開れして同語地である首興 北直では密管保護的の援助によっ もら時には自成とが開れて同語地である首興 北直では密管保護的の援助によっ もら時には自

とにたつてある。元素な東興署||松田つてある様子だつた、でも手||そのだ、

四里だ、この四半分は水上を走る

工六日も好天高。今日の里程は事一天人で切っ等の家板が騒起してあ

るので、建しば根末な上に強くて一端の一帯をもがきながら強んである人と切っ等の家庭が提起してあった。手二百尺もそそりたつ伍仇併

悲壮水上の宣誓

「重ましい恐悟のは蟻を聞いた、

氷上の熊蘭に馴れるとアスフリル

いの上を建る以上に領標が好い、

十吨位、京西や配神の国道は落喰

國境では冬の超 一等道路は氷上

が楽して次の通り取回部に寄足瀬里軍騎兵献間のため婚輩。日本の地草小磯人協会支部で

まるで「お菰さん小屋」だ

道内三府を擧げて行はれる

を握つた山田盛岡局長が悦ひにはに行はれた、正九時点初の受断器 時局長部と秦天中央電話局との間 ち切れさうな聞を無理に引きしめ ケーブル二回線は原よ十日開通だ|新原川級中らしい、早速器天から 昨夜京城と奉天が歡びの交換

沸き肉をごる 交はす『韓國印通福藍勝通記念通|響か『山内電々懇談かお出でにな して こうここ・・・・ と・・ とこれに先立ち隣づきあひの接郷を | 新京へ最初の中職だ、新京の疾狭 | られしさらに、送話器にかむりつ 近一が九日夜九時から京城中央電 りましたお話し下さい」と降へる て中央のテーブルに着くと振り切

けよい豪華プ つた京城の交換機が拳天の交換機「通路、利益にすれば今まで通りで一まですつかり入る。

通連絡電話 相手の山内電本島起は緩然ながら、な能力の語にしては謎に宏い、次度域と整天 | を呼び出す鑑かはつきり開える。 | 京城新原間は二国四十銭砂、こん 通話料合計**十九圓廿錢也** と援野を交はす、この間約三分一一だ、第天の通話銀円の提びの錐鉄 いで発夫へ、相川本情外が説長が すれ、大いに利用しませるようで語で仕事も大いに禁になりましたのでとう、これからはこの

と大悦ひ、次いで本此主新他川は 一通話一回六十段は安いですね」 「これからの取引にこの調子では 採題と石田泰夫同党類が和でから たがら部門界の『熊田一知》

業者とニュースを交換し、終つて職民を始め京城市が選大の間

教壇に取り入れる

お越しになりませんか」、おおいいのですねらにお合ひしたいものですねにない。

京城中央取時間では来る四月一日 電話番號類改正

期から裾原教で頃か中心となって「型行動を通じて一夜でも多くの加いから裾原教で頃か中心となって「型行動を通じて一夜でも多くの加いことが、愈上来る音楽「位義も行ふ記載である、月下各権

盟を疑励してゐるが、お隣の新興 型形態を通じて一校でも多くの加

前川西では既に新墨期から全國作

等々特別物澤山で大路物である。

備下に集ぐ

怪從團檢學

果大門署での活動

小説と質問だけでも数十篇題にレ

「増刊」が大高り

叫ばれながら、米だに實場の運び

午前十時十分から約廿分間常車の爆音による。防旋辿門のためにいる。防旋辿門のため

項に属する手機は成るべく立くせ になり目下部院中であるが規模事 現在で電話者競弾を敗すること 和望の申込みがあるが、郷間では なった既に斉定からどし 金中初等學校に動きかけることに 領部教育映圖機盟を組織、学島の

により二、三分同一般の交通をり、東域線前等では消害の歴況。 大平道 に差支ない

資は京城中央電影局に於ける記念 念通点は発売に十時州五分、通点 と双方引張り合ひで笑ひながら記

九月年後三時、另京城花河町八九

又《輪禍 幼兒重傷

別は後期では東京町

春の夜に狂ふ

● 產婆生徒募集 ● 產婆生徒募集

アかれてか夜の網路街に整行者 ◇……花も吹かねに、早 流行を掘いてるる出を同志出版は 野町で頭行人を片型から聞へては 九日午後八時ごろり

先に頑張り、これまた通行人を片 四か」と暗つてからり本書へ連行 天五朱丽成(二)は从前町一四六 が関するとアペコペに一覧を

空巢用心記

| 茶豆蛋内

現代文化を示詞。「映画機を購入させ、フィルムは賦」(延長大四三米)の北側入口から

教育映畵聯盟が生れる

敬称に適したものを選定、こ

歴史、理科をの他全職自にわたつれた全加盟技に次々と配納、地理、

行ふわけで、将来はニュースその

て解り湯い映画解説による概念を一づれも質問であるが生命には即様

配がついてある、なほび似者はい

もので現場はカーヴを描きでとい 八十米附近の地路で再改を起した

他與床あるフィルムによつて関外

財、衣類三點、既並供自用。 安願の施鍵を持つて入込み様中時 対解の施鍵を持つて入込み様中時

んであた、西天門署で記人授品中

は九川南家族連れで外出、午後三 京城和泉町一〇八枝勘氏(ご)方で

化學工業株式預計

明治町入口 京都 資料 東西 東南 田 合 東海町 入口

きを集にし制作用機能等級性に無き安全語であった。 ジシー医學派機特の米國製新導で一段市場の山にバスする第1として特にお勧め申上げます。

生 沒女 學系部斯學期始 我们產婦人科爾尼內 我们產婦人科爾尼內 我们產婦人

產

京城府中學町一四 京城府中學町一四 章 是 題 會

而赤本局八二一番 嵌唇冠城二六門

女子 は三元次上 北京 曾 三元次 上 西 曾 京原本町岡丁自三宮 に 五八階 曾 「京原本町四丁自三宮 」

洋 裁 生能影果連続将應中込受付四月五日線 詳細は本悠中込受付四月五日線 詳細は本悠

阿尔西藏湖宫(中町十時卅分) 空防護運動のが収録車な 阿敦提及

「何れもラッパ手、建隊を先頭に 特、記載線前官(千後世分) 既行社 「東京子城町事換校」 本語(小田) 新足館 (中後) 大連) 新足館 大力 (東の大) 神犬宮 (東の大) 神経 (東の大) 神子宮 (東の大) 神子ス (東

つ端微塵と たり乗組の練路工夫十二名中即死六名、電傷五名 を出漁殿へ帰設の途にありといった劍拂浪第二トンネル内で衝突、トロツコは木 様であるが衝突の耐敗その他は収割べ中 收援車急行 川島首氏は著統他にも殴り傷一つにはなかった。 機關電貨には格別技法はなかつた数

間山脈者・受菌川級直は続に整行

した怪協開版名を簡単収調べ中

男忠本生れ住所不定会加

開始当順化ニンを開助

トにもごめくチンピラを手先に

施出総は同語下を題ひ、以アベ

地ぐつてある事を採り 会性経路一味が否む形面出場下

役五年 を ボ ボ ボ り 男 へ 懲

教司法保では昨今政立劉英仙をね

原因はオンドルの過熱と判断を安方から微火、直ちに鎮火をから微火、直ちに鎮火

仁学町のボヤ

心部をするので、耐力計器では脳 京城市内には近立場の総領事 命近に努めてゐるが東大門

手数を加へた

死傷者の氏名

怨みの放火

の動理は野殿とは一方面で氏名は

際面局発見とれば死傷者はいづ

さた夫を持つた女闘が近所の人か

背支が値か四尺そこそこといふ小

懲役五ケ年

生命には別條 は見事である)

で能量期しに一番日の思い家。 し散さいやかされるのを知に帰ん 以入したといふ 「医學有此」の

大部分の例の大部分の例の例のである。

幕

田大學學募集

一直 用北田 三月廿八日

拼机全人

有給販賣員募集



自国の多少で最深か不是言が打 料理国、住営の配表は実配の出

[绘名辦典] 神戶市

防空防護演習と記念行事

対策、高州位属等、豊富権の防(一)細路対付的「宇路から網路」のを目がけ場別投下、ことにも高・交通式制を行う。

牛馬車、荷車等一般諸軍の河行ら同じ一五分まで電車、自動車 防護河討っため年間十後社分か

幼館庭将北長を主任とし前 | 事務所はらをもつて教授隊を編成二 (事故のため逝れ九日生後十一時 学うな問題とは

「私は氷上は始めてたが氷が割 「私は氷上は始めてたが氷が割 とマイナス甘七度の水上で量々た

三成場を述べ、局投の月には白い

河門與江縣與 拉路祭 版本出 歳変が三人思問品献金と思問品 献金・加速により廿四を助き

下山機・地土地板)は一部にあった高端突した機・跳車(第一七一四艘・ 山緑へ向け佐物列北部引のため組

六四三世同時。その京城地方法院

月間に出した 際作の山は大

独を見ると関すは、百七十七分 であつて、一日一人當りの熊田 が一型六分、県原が七分の財卵 展開が六十五石といふ数字 展開主合作均になってみる ・町年同期に比較すると関係 三十七百三十貫、 面白いをには好況時代に風

小郎自からく、病院、京部 第一直發 院交 院理文

部一版 群 () () 自一頁十一日 自二月二十日 科)直角作品 尼月廿七日

即、陸道記等日を祝ふ歌 | 陸道記等日を祝ふ歌 | 陸道記等日を祝ふ歌 | 伊藤三五分(現) 沙木香県作 | 一、報源田 | 乃木香県作 | 一、松東田 | 一、松東田 | 原田小四郎作 | 一、大村益天郎 | (第一景)江 | 一、大村益天郎 | (第一景)江 | 一、大村益天郎 | (第一景)江 | 「中一景)江 | 「中一野)江 | 「

屋 同八時(東)電話劇 時計量の店 の一時(東)電話劇 時計量の店 上田 常一

十一日(木)

聞く整酒を割はせました

陸軍記念日のタ

午前一〇時的空所經過型質況

放 送

い奏樂 い奏樂 の一味一五分 前業課題 朴果仁 川学文:10 同六時 見意と先生の時間 川学文:10 同六時 見意と先生の時間

ありました。蘇つてあたずつた

す。それはそれは、見てるても無

あり、その事は支配人から報告。「質いだけにでも、他のため身を研

だけお見のがして頂けたら、その

於ける飛躍は素晴しいものである

即丁原に、などと末亡人が昭律し、『お願ひです』 こあるのだが、膨子はそんなこと

急に菓子は絞り出すやうな難で

他の秩序といふこともありますの

と行ろから叫びとめた。据述つ

と第子は挨拶を述べてある。い「に採用して残った上に、何とかす

たつてゐますが、いづれ、神田君

「吹さん」

して、がくくどくどと概返したあ

有疑うございますと と第子は茂度もお蘇隆した。

とで、諦め切れぬやうに出て行つ

が何とか取りなして細上げますか「お別取り下さいまし。わたくし

緊張或し陸東の風雲は日雲戦的よりも一層 能新たるものがあります今や国際情勢は

て困ります、泉国は今や気に影画一

し國家の繁華を貸したのであります芸に毎州二回の陸 窓日を選ぶるに割り非常時高額の今日

既役は我國驪古の大戦であり泾町の繊維であつたが

とその時、米亡人がつしましく

関さんのお紀符ちはよく分つて

でもし、ちよつとお待ち下さいま

春近けれど(公)

極本の姉が、激烈に来てゐるのか『どうぞ、今度だけはお見のがし









繁華銀の記念日である。 宮時明治 人として忘れることの出来ない日 人として膨れることの出来ない日、旅に買する敵医の窓は弾道人の客。 「月十日は陸東記窓日です。日本」のであるが、殊に戦場に於ては軍 戰場美談 のお話

日務無事は日本といふ劇を一躍的「軍族は大司なものであり、則、天少路は放送を前にして離りました」私は鳴めたことがある。それ場、 色々なお話を向ふことにしませう 職隊の帰院選手であつた優井少将「軍派の布はドラノ」に飛散したの 戦争を回想して呼いて 十七八年の戦役に、松山二 一族の軍族が攻撃の際砲弾を受けて「戦闘の形石七年を崩す ||一般片を押し戴いて大切に胸のボケ||一二||一位|||一年|||作さあしが、その飛び蹴つた五峰の||登つて名繁を飛げん事と元と はんてゐる。失士のあると こある 私たちの職 | 動見の大義太だ分明

の恋になるほど、後悔してるので一のは半時に於ても非常に大切なも「ぎになつたことがあつた。そして一人生限り有り名禮くる無し にして奉公すると申して居りまして庶順攻撃に参加して居りました。居におた時、縄攻撃の衛、この職 が、軍人にとつては軍旗といいも一隊の軍族が行衛不明になって大騒 この態象の時、私は職隊原手としが帰江線隊の制路として使用して 別は死して肢を留む

鑑用は細なるも労働お雛から 詩

職和山を置いて山形以まる

号に帰さ化に当す部つて博あり 時を繋び出を継くは遅に無用

四大権公

橋から吸收されて肌内部に豊 第887 - 『

から表面だけの手當では充分と云へません

クラブ美身クリームをお使ひ

になればごん

で冷い水仕事にも肌アレを防ぎます。 は、また。

冬の寒冷は肌を乾燥させ茶養

不足にします

給するからであります。

盾から吸收されて肌内部に豊富な栄養を補さます。それは総合ギルモンや含養分が皮さます。それは総合ギルモンや含養分が皮は、肌のアレをよく防ウラブ美身クリームは、肌のアレをよく防

· ()

不思議なもので質に辿くまし 観发の死性の下程になってしつか 度の念にったれることが数彰く記 いふ語もある。態筆といふものは りと一块土がこれを守つてゐたと 合に備へわばあられと思ひます。就きまし では自然観光當時と現在とを比較して即か其情勢を述べ る狭態を堅め待つあるの顔を以て監察の思 光度の像業を思び例説の原悟を治ふ次節であります 鬼頭の平和を指来し以て世界平和に貢献す 春の氣象









12 大阪商船赈出帆



薬本として新飢見せるハトリ 微の效果を以て實驗者の質證を博 魏近獨乙の治滞薬界に断然優位を は急慢性淋灰及消濁に對し快速明 占むるカワカワハルツ(樹脂) 林灰の茨男角

色のよい引力のオートーニンで、この貼が普通されば綜合ホルモン配合の優秀なクリームをは、また、また。

色のよい弾力のある肌に若返

退し御次派保及継承総別では遺在の日本を呈して排除時のどのいるとのできる。 してゐる。即ち

蕃の效果を奏し、特に淋毒性膀 丸歩、或は瞬節歩等の併發症は

の分泌を制止、英症を消散する。

カワカワハルツによる

t

たしあばは扶うう然吉
こあめいる。ちょう河豚

派ルモン配合

にマッサージに使へば一層子 のクリームと異ひますの情人

肌にしますの 浴後や就寂前

クラブ美身クリームは白粉下

よいクリームでありますの

ホルモンの作用で地肌から美しくなります

身クリームをお顔にのばしその上にコナのおいないなどなくよくツキ、しかもお化粧崩らがムラなくよくツキ、しかもお化粧崩らがムラ性の方は除分な脂を調節しますからアプラ性の方は除分な脂を調節しますから Ş さしても一番 の健康化粧は



最 近 製 造